

平成30年度スポーツ庁委託事業

長崎県武道等指導充実、資質向上支援事業 事業報告書

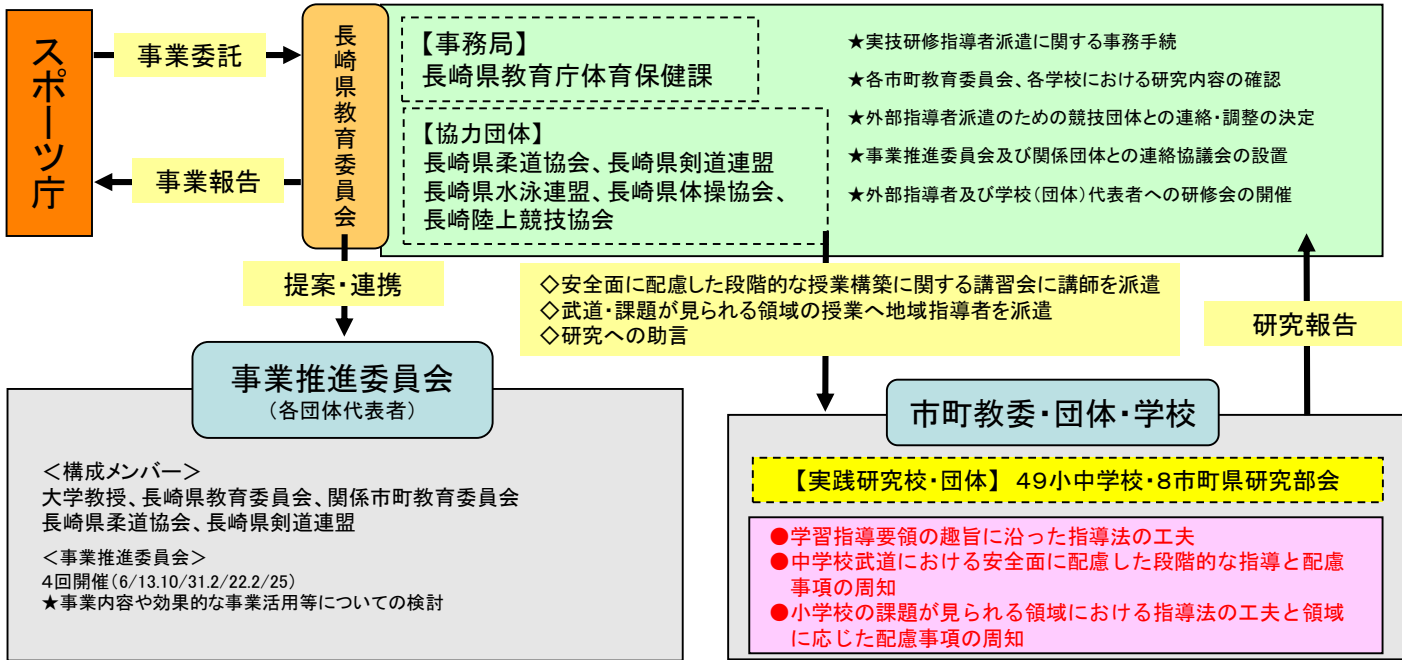


長崎県教育委員会

事業の目的

長崎県における武道等の指導の充実及び教員の資質向上・指導力強化を図ることを目的としています。主に中学校武道における発達の段階に応じた安全面に配慮した学習指導の展開と、小学校教員で指導に不安を感じる等の課題が見られる領域について、教員の指導力の向上を図ります。

研究組織



事業内容 (実践事例)

① 実技指導者養成講習会 (安全面に配慮した段階的な授業構築に関する講習会)

指導に不安を感じている教員の指導力向上や資質向上を図る。著名な大学教授等を招聘し、学習指導要領に基づいた安全面に配慮した段階的な指導法について講義と実技を行う。また、県教教育委員会主催の講習会を受講した競技団体の指導者を地域指導者として市町教育委員会主催の講習会の講師として派遣し指導内容の一貫性を図る。

柔道

平成30年11月27日(火)

講師: 全日本柔道連盟(大東文化大学)

田中 裕之

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりと、柔道指導法にとどまらず、人として、教師としての道を示してくださいました。



2 アドバイザー派遣 (市町教委・団体主催による講習会)

- (1) ねらい
 学習指導要領の趣旨に沿い、技術や安全に関する教員向けの研修を実施し、教員の指導力向上と体育授業の改善を図る。
- (2) 派遣対象
 市町教育委員会及び体育科研究会等企画の研修会
- (3) 内容
 ・授業研究
 ・学習指導要領の理解等

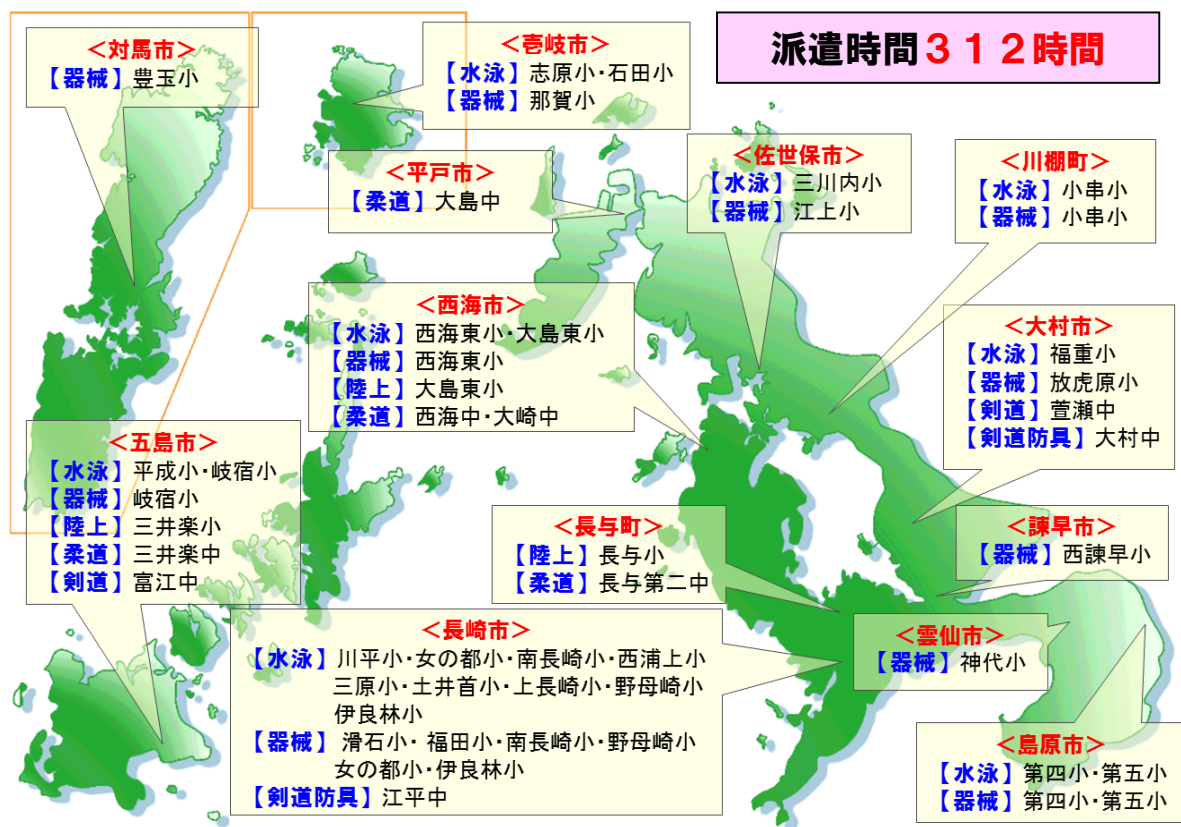


▲佐世保市教育研究会保健体育部会の様子

| 【H30 8回】 | | |
|----------|-----------------|----|
| 1 | 長崎市教育研究会保健体育部会 | 2回 |
| 2 | 諫早市教育研究会保健体育部会 | 1回 |
| 3 | 対馬市教育研究会保健体育部会 | 1回 |
| 4 | 佐世保市教育研究会保健体育部会 | 1回 |
| 5 | 吾岐市教育研究会保健体育部会 | 2回 |
| 6 | 県中学校保健体育研究会 | 1回 |

3 サポーター派遣 (中学校の武道・小学校の課題が見られる領域の授業協力)

- (1) ねらい
 武道及び課題が見られる領域について、地域指導者(保健体育退職教員や競技団体指導者等)を学校の希望により小学校・中学校の体育授業へ派遣し、保健体育科教員(T1)の計画に基づきT2として運動の示範、安全面に配慮した段階的な指導方法を用いた支援・運動の技能のポイントやコツの例示を行うことで、教員の資質向上・指導力強化を図る。
- (2) 派遣対象及び派遣実績
 派遣時間：312時間
 小学校：課題が見られる領域
 (水泳20校、器械運動17校、陸上運動3校)
 中学校：柔道、剣道(柔道5校、剣道2校)
- (3) 武道(剣道)の体験型授業 ※今年度の新たな取り組み
 多様な武道種目を体験させ、我が国固有の伝統と文化により一層触れることができるようにするため、柔道を履修している学校に剣道の防具等を貸し出し、体験型として授業を行った。



関係機関・競技団体との連携（事業推進委員会・連絡協議会の開催）

(1) 事業推進委員会

大学教授、各市町教育委員会学校体育主管課担当者、関係団体者代表等からなる推進委員会を設置し、事業内容や効果的な事業活用等について検討するとともに、事業の充実に向けて情報交換、事業成果の県内各学校への普及等を行う。

※ 推進委員11人 年間4回

(2) 地域指導者の資質向上のための連絡協議会等の開催＜年間計2回＞

地域指導者同士の情報共有や指導力の向上を図るために、連絡協議会を開催する。なお、その際、学習指導要領に沿った学習内容の理解と発達の段階に応じた安全面に配慮した指導方法等専門の講師を招聘した講義・実技も計画する。



体育学習マイスター研修会（ミドルリーダーの育成）

(1) ねらい

本県の保健体育科の指導に関する調査では、「保健体育の授業に自信がない」と答える教員が多く、特に武道・ダンスに関しては顕著である。

そこで、各市町教育委員会指導主事及び郡市研究部会代表者各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成し、体育学習マイスターに認定することで、体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。

※ 対象受講者24名 年間2回実施



少人数で学んでいくし、演習や実践、他に伝えるなどの対話を通した学びや研修ができるので、理解しやすかったです。(教諭)

指導案や学習指導要領などベースとなることから、発展的な内容も実施して頂き大変参考になる研修でした。(指導主事)

(2) 内容

1回目：講義「新学習指導要領及び同解説の理解」

演習「学習指導案の書き方」

2回目：講義及び演習「年間指導計画（移行期間）」

「指導助言演習」

児童生徒の声

～サポーター派遣事業 児童生徒アンケート集計結果～

| (1) 体を動かすことは好きですか。 | 好き | | | | 嫌い | 総計 | (2) 体育の授業は楽しいですか。 | 楽しい | | | | 楽しくない | 総計 | (3) 運動のやり方やうまくなる方法を知っていますか。 | 知っている | | | | 知らない | 総計 |
|--------------------|-------|-------|-------|------|------|----|-------------------|-------|-------|------|------|-------|-------|-----------------------------|-------|-------|------|--|------|----|
| | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | | | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | | | 2 | 1 | | | | |
| 事前 | 2845 | 1126 | 351 | 103 | 4425 | 事前 | 2955 | 1146 | 266 | 58 | 4425 | 事前 | 1045 | 1798 | 1069 | 513 | 4425 | | | |
| | 64.3% | 25.4% | 7.9% | 2.3% | | | 66.8% | 25.9% | 6.0% | 1.3% | | | 23.6% | 40.6% | 24.2% | 11.6% | | | | |
| | 89.7% | | 10.3% | | | | 92.7% | | 7.3% | | | | 64.2% | | 35.8% | | | | | |
| | 好き | | 嫌い | | | | 楽しい | | 楽しくない | | | | 知っている | | 知らない | | | | | |
| 事後 | 3062 | 1112 | 201 | 50 | 4425 | 事後 | 3208 | 978 | 198 | 41 | 4425 | 事後 | 2822 | 1277 | 256 | 70 | 4425 | | | |
| | 69.2% | 25.1% | 4.5% | 1.1% | | | 72.5% | 22.1% | 4.5% | 0.9% | | | 63.8% | 28.9% | 5.8% | 1.6% | | | | |
| | 94.3% | | 5.7% | | | | 94.6% | | 5.4% | | | | 92.6% | | 7.4% | | | | | |
| | 好き | | 嫌い | | | | 楽しい | | 楽しくない | | | | 知っている | | 知らない | | | | | |

成果と課題

全ての項目において派遣後の方が数値が上昇している。特に「運動のやり方やうまくなる方法を知っている」については、28.4%も上昇しており、派遣効果があると言える。

(1) 成果

- ・事業推進委員会において、課題を明らかにし、対策や次年度に向けての方向性を示すことができた。
- ・サポーター活用において、児童生徒が運動のやり方やうまくなる方法を知ることができた。
- ・サポーターの指導方法や児童生徒との関わりを通じて、教師が指導方法を学ぶことができた。
- ・指導に対して苦手意識を持つ教員が、前向きに指導してみようという気持ちを持つことができた。
- ・研修会や授業協力に対して、競技団体の強い理解と協力を得ることができた。
- ・体育学習マイスター研修会を通じて各地区のミドルリーダーの教科指導力の向上を図ることができた。
- ・体育学習マイスター認定者が、講義及び演習を行うことで、資質を高め、理解を深めることができた。

(2) 課題と今後に向けて

- ・サポーター派遣は、児童生徒に対する直接的な効果よりも教員の資質向上が主なねらいである。
- ・アドバイザーを活用した市町（団体）主催の研修会を積極的に開催して欲しい。
- ・体育学習マイスター研修会の内容を充実させ、各地区の研究部会等で伝達して欲しい。
- ・県北地区で実技指導者養成講習会を実施したい。（例年長崎市で開催しているため）